

No.79	事業名 景観計画及び景観条例の推進	24年度 予算額	8,324 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市固有の自然・歴史・文化・伝統によって培われてきた素晴らしい景観を、将来にわたって保全・創造するよう、全市域を対象にして景観法に基づいた「豊岡市景観計画」の策定および「豊岡市景観条例」の制定を行ない、それらに基づいて本市自らの景観行政を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・豊岡市は、H23.6.1に景観行政団体となった。
- ・豊岡市景観計画を策定し景観条例を制定して、それらに基づき官民が協力して豊岡らしい良好な景観の形成を推進する。
- ・景観を構成する重要な要素である屋外広告物については、景観計画の方針に基づき豊岡市屋外広告物条例を制定し、六方田んぼや景観形成重点地区などにおいて重点的な取り組みを行う。

(2) 事業期間

平成 22 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 24 年度予算

(1) 予算額

8,324 千円

(2) 事業内容

景観計画策定及び景観条例等の制定および周知
屋外広告物条例の制定

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

景観ガイドライン作成、フォーラム開催、全国町並みゼミの誘致

担当課名【都市整備課】（内線 2483）

施策体系番号 3-2-5

No.80 事業名 神武山公園の整備	24年度 予算額	3,030 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市街地に設置された都市公園であるが、開設より40年を経過し、樹木が大きく繁茂し眺望を著しく阻害している。間伐等により魅力ある市民の憩いの場としての整備を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

危険木、景観支障木、桜保全木等の伐採を行い、眺望の復活並びに桜の保全を行う。

(2) 事業期間

平成24年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

3,030 千円

3 24年度予算

(1) 予算額

3,030 千円

(2) 事業内容

樹木伐採

担当課名【都市整備課】（内線2497）

施策体系番号3-2-6

No.81 事業名 稲葉川土地区画整理事業	24年度 予算額	281,624 千円	新規 拡大 継続
-----------------------	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

土地区画整理事業の施行により河川改修事業に向けた河川用地の確保を早急に行うとともに、公共施設の整備改善並びに宅地の利用増進を図り、安全で安心な市街地を形成する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア. 事業区域 豊岡市日高町岩中及び浅倉の一部
- イ. 地区面積 約 27.9ha
- ウ. 関連工事 国土交通省施行：円山川 L=1,150m、稲葉川 L=900m、樋門 2 箇所
兵庫県施行：稲葉川 L= 150m、橋梁架替 1 箇所

(2) 事業期間

平成 19 年度～平成 25 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

21 億 9,000 万円（国・県公共施設管理者負担金あり）

3 24 年度予算

(1) 予算額

281,624 千円

(2) 事業内容

造成、水路築造工事等、用地補償等

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

当地区は、平成 16 年の台風 23 号により一級河川稲葉川の氾濫により甚大な被害を受け、災害復旧のため河川改修事業が実施されている。

しかしながら、当地区は度重なる河川の氾濫により「公図混乱地域」であること、日高地域の中心市街地に隣接し将来の市街化が見込まれること、河川計画は現河川と別の位置であること、河川改修事業の期間は限られていることなどから、土地区画整理事業を実施するもの。

担当課名【都市整備課】（内線 5471）

施策体系番号 3-2-2

No.82	事業名 住宅耐震改修の促進	24年度 予算額	14,552 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市耐震改修促進計画（H21.3月策定）では、市内の住宅 38,901 棟（空き家を含む）のうち耐震性がある住宅は 18,104 棟（46.5%）と推計し、平成 27 年度末の住宅耐震化率の目標を 90%に設定している。

耐震性がないとされる昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工された約 2 万棟の住宅について、まず、住宅を所有される方が簡易耐震診断を受けて住宅の耐震性を知っていただき、耐震性がないと診断された場合、住宅耐震改修工事に取り組むことを支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

①簡易耐震診断の個人負担を無料

一戸建住宅の場合の個人負担を無料とする。

②一階居室等補強型の市単独の補助制度

住宅が倒壊しても生存空間を確保するため一階居間又は寝室の壁を補強するための計画策定・改修工事に対する、市独自の補助制度

市補助…計画策定・補強工事に対し、2 分の 1 以内（戸建の場合で最大 40 万円）

③「兵庫県わが家の耐震改修工事費補助制度」に市の上乗せ助成制度

県補助…住宅耐震改修計画策定に対し、3 分の 2 以内（戸建住宅で最大 20 万円）

改修工事に対し、4 分の 1 以内（戸建の場合で最大 80 万円）

市の上乗せ補助…改修工事に対し、4 分の 1 以内（戸建の場合で最大 30 万円）

(2) 事業期間

平成 22～27 年度

(3) 事業主体

昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工された市内の住宅の所有者

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

約 61,000 千円

3 24 年度予算

(1) 予算額

①簡易耐震診断の実施戸数(100 戸)	3,000 千円
②兵庫県わが家の耐震改修工事費補助への市上乗せ補助	3,000 千円
③一階居室等壁補強工事費への市単補助	8,165 千円
④普及啓発	387 千円

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

平成 23 年度実績（見込み）

①簡易耐震診断実施戸数(無料) 145 戸

②耐震改修工事实施戸数 6 戸

担当課名【建築住宅課】（内線 2462）

施策体系番号 3-2-2

No.83 事業名 田舎暮らし住宅の整備	24年度 予算額	8,000 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

長年空き家となっている特定公共賃貸住宅の活用策として、UIJターン希望者を対象に一定期間安価で住宅を提供し、その間に市内への定住先や就業先についての支援を行い定住につなげる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

特定公共賃貸住宅中山向町住宅（但東地域）の改修を行い、定住促進住宅として活用する。

（定住支援：経済課、就業支援：農林水産課）

(2) 事業期間

平成24年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

住宅改修 8,000 千円

(2) 事業内容

天井改修、エアコン設置等

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

【特定公共賃貸住宅 中山向町住宅】

①所在地：豊岡市但東町中山1034番地の1

②管理戸数：5戸（空き戸数5戸）

就農希望者用2戸、一般希望者用3戸として活用予定

③建設年度：平成8年度

④構造：木造平屋建

⑤面積：98.9㎡(3LDK)

担当課名【建築住宅課】（内線2462）

施策体系番号3-3-1

No.84	事業名	消防救急デジタル無線の整備	24年度 予算額	10,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

総務省告示（H20.5.13）に基づき、平成28年5月31日までに現行の消防無線局の周波数帯（150MHz帯）使用を、新周波数帯（260MHz帯）へ移行するとともにデジタル化にするもの。

デジタル化の整備対象は、消防本部基地局をはじめ消防署及び消防団の車載無線機及び携帯無線機などである。

2 全体の事業内容

(1) 内容

【整備計画】

平成24年度	基本設計（電波伝搬調査含む。）
平成25年度	実施設計
平成26、27年度	消防救急デジタル無線整備
平成28年度	運用開始

(2) 事業期間

平成24年4月1日～平成28年3月31日

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

約17.6億円

3 24年度予算

(1) 予算額

消防救急デジタル無線整備基本設計 10,000千円

(2) 事業内容

消防救急デジタル無線の整備に向け、消防無線の送受信に必要となる無線基地局数の決定、概算費用の算出及び実施設計に必要な項目を確定するための基本的な設計を行う。

担当課名【消防本部警防課】（内線3802）

施策体系番号1-1-2

No.85 事業名 高度救助隊員の養成	24年度 予算額	502 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

複雑多様化する各種災害に対応するため、「救助隊員養成計画」に基づき、人命救助にかかるとより高度な救助技術と知識を備えた隊員を養成する。

2 24年度予算

(1) 予算額

502 千円

(2) 事業内容

「消防大学校専科教育救助科」に救助隊長クラスの職員を1名派遣し、救助業務に関する高度な知識及び技術を専門的に習得させる。

担当課名【消防本部警防課】（内線 3802）

施策体系番号 1-1-2

No.86	事業名 小学校及び幼稚園の校庭 の芝生化	24年度 予算額	22,555 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

子どもたちの心身の発育向上、環境に優しい学校づくり、地域と学校のつながりの強化を目指し、校庭の芝生化を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

21年度から校庭の芝生化に着手し、現在、小学校30校中14校で約68,480㎡、幼稚園27園中16園で約9,500㎡の芝生化を実施している。これまでに得た効果とノウハウを踏まえ、芝生化実施校庭の拡大を図る。芝生化の実施にあたっては、低コストで実施可能な「鳥取方式」を継続して採用する。

なお、芝生化及び維持管理は学校園と地域団体が協力して手作りで実施し、市は事業に必要な機械、種子、肥料代などの購入費用を負担する。

(2) 事業期間

平成21年度から

(3) 事業主体

豊岡市及び地域団体

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

約45,088千円

3 24年度予算

(1) 予算額

22,555千円（小学校22,555千円）

(2) 事業内容

① ポット苗材料費、肥料代、冬芝種子代、備品費（芝刈機）、関連費用（整地及び獣侵入防止柵設置費用）

② 実施予定学校園 8小学校（約28,800㎡）

（五荘小学校〔継続〕、新田小学校、神美小学校、竹野小学校、竹野南小学校、清滝小学校、福住小学校、寺坂小学校）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

① 鳥取方式・・・成長力の高い洋芝をポットで育苗し、校庭に移植して施肥、散水を行いながら雑草を抜かずに刈り込みを中心とした管理で芝生化する方法。

担当課名【教育総務課】（内線2701）

施策体系番号4-1-3

No.87	事業名 小学校教室扇風機の設置	24年度 予算額	8,700 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

猛暑対策として普通教室に扇風機を設置し、教育環境の改善を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

学校生活の中心となる普通教室に扇風機を設置する。
扇風機等の既存設備が無い小学校 27 校を整備する。

(2) 事業期間

平成 23 年度～平成 24 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

11,200 千円

（H23 年度 2,500 千円 H24 年度 8,700 千円）

3 24 年度予算

(1) 予算額

8,700 千円（157 教室）

(2) 事業内容

実施予定 市内小学校 23 校

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

H23 整備済 4 校（豊岡小、八条小、府中小、日高小）

既整備済 3 校（三方小、弘道小、小坂小）

担当課名【教育総務課】（内線 2701）

施策体系番号 4-1-3

No.88	事業名	学校施設(幼稚園含む)の耐震化事業	24年度 予算額	57,920 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的(趣旨)

学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習、生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての重要な役割を担っており、地震に対する安全性を確保することが喫緊の課題である。本市学校施設整備計画に基づき、学校施設の耐震化を推進し、安全・安心な学校づくりを図るものである。

2 全体の事業内容

(1) 内容

豊岡市学校施設整備計画(平成19年3月30日策定)に基づき、昭和56年以前に建築された小中学校20校75棟の耐震化を図るとともに、老朽化した施設の改修を行う。

また、幼稚園施設で唯一耐震化の対象となる豊岡ひかり幼稚園についても、耐震性の確認を行う。

(2) 事業期間

平成19年度から概ね10年間

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費(補助率・負担率等)

約37億円(小・中学校)

3 24年度予算

(1) 予算額

57,920千円

(2) 事業内容

① 耐震診断・補強計画策定業務 6小学校1幼稚園

(港西小、新田小、神美小、八代小、府中小、日高小、豊岡ひかり幼)

② 耐震補強・改修実施設計業務 3小学校1中学校(次年度以降工事分)

(八条小学校1棟、田鶴野小学校2棟、奈佐小学校2棟、豊岡南中学校2棟)

4 その他参考事項(事業内容の詳細等)

小中学校建物の目標耐震化率100%(対象:非木造2階建て以上または200㎡以上)

平成19年度当初 58.8%

平成23年度末 80.9%

担当課名【教育総務課】(内線2701)

施策体系番号4-1-3